

# 認知症は早期発見・早期対応がとても大切です！

コロナ禍で、高齢者の認知機能の低下など、不安を感じている方が増えています。認知症は、現在完治が難しい病気とされていますが、早期に発見して適切な対応をすることで、認知症の方だけではなく、家族等にとっても安心な生活を送ることにつながります。



## 早期発見・早期対応の3つのメリット

### メリット1

#### 早期治療で改善も期待できる

認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見し早期に治療を始めることで、改善が期待できるものもあります。

### メリット2

#### 進行を遅らせることができる

認知症の症状が悪化する前に適切な治療やサポートを行うことによって、その進行のスピードを遅らせることができます。

### メリット3

#### 事前にさまざまな準備ができる

症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができます。

## 認知症が疑われるサイン

以下の認知症チェックリストを参考に「認知症かもしれない」というサインに早めに気づき、お住いの地区の地域包括支援センターに相談しましょう。認知症による変化は、本人よりも周囲の人が気づきやすいことも多いので、身近な家族などが一緒にチェックしましょう。

### 初期の認知症などによくみられる生活障害の例

<input type="checkbox"/>	整理整頓ができなくなった
<input type="checkbox"/>	1人で買い物や金銭管理ができない
<input type="checkbox"/>	電話の対応や訪問者の対応ができない
<input type="checkbox"/>	食事が1人で取れなくなった。食事の回数が減った
<input type="checkbox"/>	痩せたり太ったり、急激な体重の増減がみられる
<input type="checkbox"/>	同じ服をずっと着ていたり、逆に何度も着替えたりする。季節に合った服装ができない
<input type="checkbox"/>	昼間寝ていることが多い。または夜間不眠・不穏である
<input type="checkbox"/>	意欲の低下がみられる
<input type="checkbox"/>	同じことを何度も話したり聞いたりする
<input type="checkbox"/>	約束事を覚えていない
<input type="checkbox"/>	5分前に聞いた話や電話の内容、人の名前を思い出せない
<input type="checkbox"/>	冷蔵庫の中に同じものが多くある
<input type="checkbox"/>	入浴しないなど、不潔である

(千葉県健康福祉部高齢者福祉課認知症対策推進班作成)

### 相談窓口

#### ほんのう地域包括支援センター

本納・新治・豊岡地区 ☎ (36) 2123

#### ちゅうおう地域包括支援センター

東郷・豊田・二宮地区 ☎ (26) 7525

#### もばら地域包括支援センター

茂原地区 ☎ (22) 3007

#### みなみ地域包括支援センター

五郷・鶴枝地区 ☎ (20) 2626

## 脳の元気度測定会＆相談会を実施します！

◆日時 6月14日、7月12日、8月9日、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、令和5年1月10日、2月14日、3月14日（毎月第2火曜日） 9時30分～12時

◆場所 市役所5階会議室（会場が変更になることがあります）

◆定員 1日5人程度（事前に電話で申し込み）

◆内容 タッチパネルによるもの忘れ測定（1人約20分）

必要に応じて専門職（保健師・社会福祉士・介護支援専門員）による相談



申込み・問合せ 高齢者支援課地域包括支援室（2階） ☎ (20) 1583 FAX (20) 1610